

# 経営比較分析表（平成29年度決算）

岐阜県 岐南町

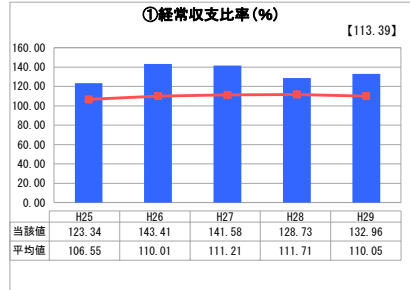
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A6	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)	
-	96.12	99.50	1,672	

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
25,525	7.91	3,226.93
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
25,365	7.91	3,206.70

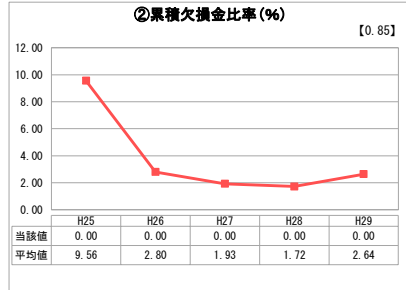
**グラフ凡例**

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成29年度全国平均

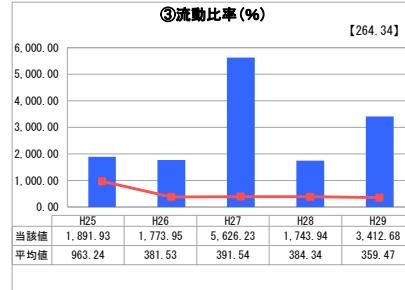
## 1. 経営の健全性・効率性



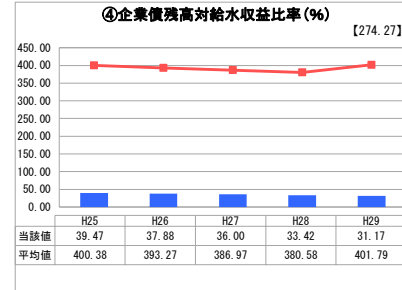
「経常損益」



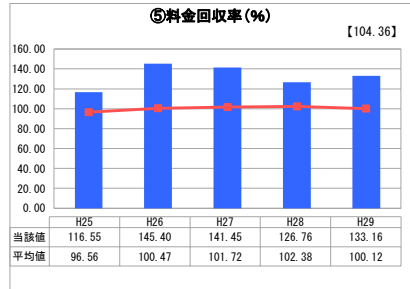
「累積欠損」



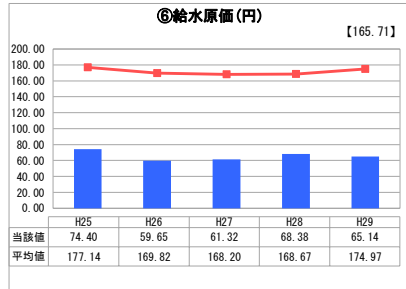
「支払能力」



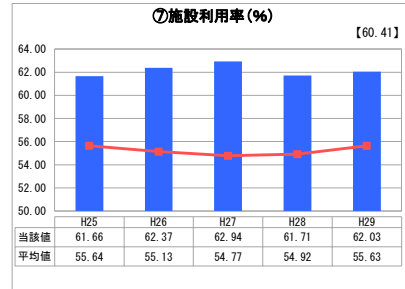
「債務残高」



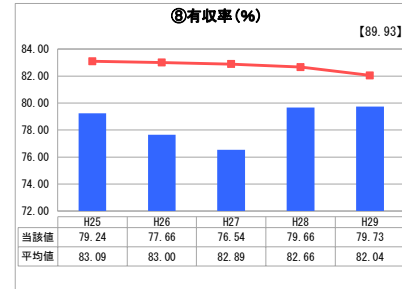
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

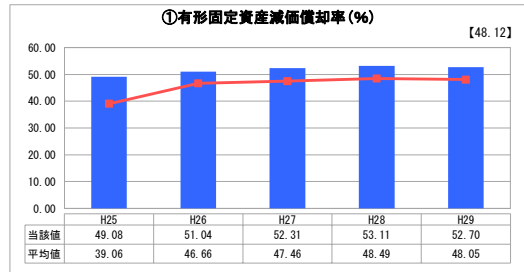


「施設の効率性」

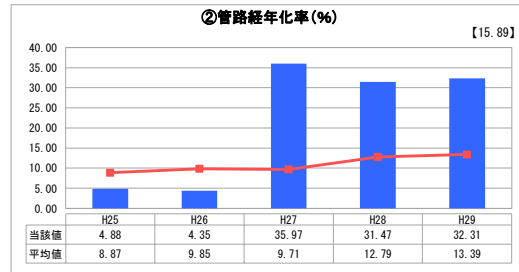


「供給した配水量の効率性」

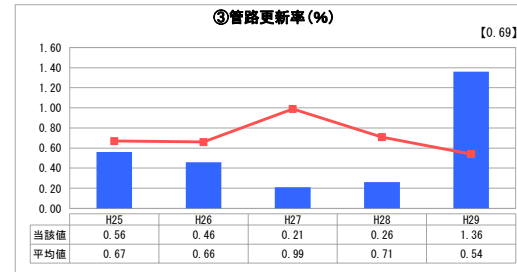
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率が継続的に100%以上を保持しており、経営に必要な費用は料金収入で賄うことができている。また、給水収益に占める企業債残高割合は、平成14年度以降借り入れをしていないことから低い値となっており、経営状況は比較的健全な状況にあるといえます。

経営の効率性については、当町はコンパクトな地形に人口が密集しているため水源地施設は3箇所と少ないことや、地下水に恵まれ浄水処理は塩素減菌のみで済ませることができるなど、施設面における費用が低く抑えられており、結果、料金回収率の良さや給水原価の安さにつながっています。また、有収率については、平成27年度からの漏水調査等の対策により回復基調にありますが、更なる有収率改善が課題となっています。

### 2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率がやや増加傾向にあることや、管路経年化率が高い値を示していることから分かるように、法定耐用年数に近づいた又は超過した施設・管路を大量に保有しています。平成29年度には管路更新工事を積極的に実施したことにより値が大きく増加したように、今後も計画的に更新工事を実施していきます。

※②平成27年度の管路経年化率が急激に伸びているのは、布設年度が不明な管路を法定耐用年数を超過したものと一括計上しているため。

### 全体総括

経営の健全性・効率性については良好であり、引き続き安定した経営を維持しているといえるが、老朽化対策の面では類似団体平均値と比較しても劣っており、今後も計画的な更新工事を実施していきます。併せて水道ビジョンの計画に沿って西水源地の更新工事を平成32年度に着工できるよう取り組んでいきます。

また、平成27年度から取り組んでいる漏水対策についても継続して実施し、有収率の改善を図っていきます。

※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路経年化率及び管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。